

平成29年度
教育委員会の点検・評価
報告書

平成30年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

- スクールサポーター配置事業
- 二期制
- 英語教育の推進
- 教育相談センター事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
- 県委託事業
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
- Ama Teachers College
- 学校支援会議
- あまっ子宣言
- 弁当の日
- 全国大会等出場報奨金
- 小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

- 公民館事業
- 成人式事業
- シルバーカレッジ事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権啓発推進事業
- 子ども・若者支援地域協議会事業
- 社会教育団体育成事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 社会教育施設整備事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業
- 文化施設整備事業

(3) スポーツ課

- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業

(4) 学校給食センター課

- 学校給食事業
- 新学校給食センター整備事業
- 学校給食センター施設整備事業

7. 学識経験者による意見

１．はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成２０年４月１日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

２．教育委員会会議の開催状況

平成２９年度は定例会議を１２回、臨時会議を１回開催しました。

(１) あま市教育委員会委員（平成３０年３月３１日現在）

職 名	氏 名	任 期
教育長職務代理者	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成２３年６月２５日から平成２７年６月２４日 平成２７年６月２５日から平成３１年６月２４日
委 員	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成２２年３月２２日から平成２２年６月２４日 平成２２年６月２５日から平成２４年６月２４日 平成２４年６月２５日から平成２８年６月２４日 平成２８年６月２５日から平成３２年６月２４日
委 員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成２２年３月２２日から平成２２年６月２４日 平成２２年６月２５日から平成２６年６月２４日 平成２６年６月２５日から平成３０年６月２４日
委 員	さとう あけみ 佐藤 明美	平成２８年６月２５日から平成２９年６月２４日 平成２９年６月２５日から平成３３年６月２４日
委 員	みぞぐち まさみ 溝口 正己	平成２９年６月２５日から平成３３年６月２４日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成２４年４月１日から平成２６年６月２４日 平成２６年６月２５日から平成２９年３月３１日 平成２９年４月１日から平成３２年３月３１日

(２) 教育委員会会議等

開 催 日	開 始 時 間	議案件数	報告件数
平成２９年 ４月 １日(土)	午前 ９ 時３０分	１	０
４月 １７日(月)	午後 １ 時３０分	８	３
５月 ２３日(火)	午後 ２ 時	４	６
６月 ２１日(水)	午後 ２ 時	８	６
７月 ２０日(木)	午後 ２ 時	８	６
８月 １０日(木)	午後 ２ 時	７	７
９月 ２５日(月)	午後 ２ 時	７	８
１０月 ２４日(火)	午後 ２ 時	４	５
１１月 ２０日(月)	午後 ２ 時	４	５
１２月 ２１日(木)	午後 ２ 時	７	５
平成３０年 １月 ２３日(火)	午後 １ 時３０分	９	６
２月 ２３日(金)	午後 ２ 時	１２	５
３月 ２２日(木)	午後 ２ 時	１２	１１

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「教科用図書の採択」など90件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

また、臨時会（平成29年4月1日開催）では、「教育委員会教育長職務代理者の選出」の1件の議案が協議されました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

委員の活動状況は次のとおりでした。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

○市議会関係	40回
○教育長用務	120回
○学校教育課用務	92回
○生涯学習課事業	24回
○スポーツ課事業	14回
○学校給食センター課事業	14回
○市行事	127回
○議会関係	30回

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。この考えをもとに、平成24年4月（平成28年4月改訂）に「あま市教育立市プラン」を策定し、この具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置事業（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置事業（全小中学校（市雇用））
- 教育相談センター事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育の推進
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- 教育人材バンクと出前授業
- 教員研修「Ama Teachers College」
- 公民館事業
- シルバーカレッジ事業
- 子ども・若者支援地域協議会事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 美和文化会館事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 学校給食事業

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■スクールサポーター配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T (チーム・ティーチング) 指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

学校名	配置数	学校名	配置数	学校名	配置数
七宝小学校	4人	篠田小学校	6人	七宝中学校	7人
宝小学校	4人	美和東小学校	7人	七宝北中学校	4人
伊福小学校	8人	甚目寺小学校	5人	美和中学校	5人
秋竹小学校	6人	甚目寺南小学校	8人	甚目寺中学校	7人
美和小学校	5人	甚目寺東小学校	8人	甚目寺南中学校	6人
正則小学校	4人	甚目寺西小学校	7人		

(複数校勤務者については各校で人数に計上しています。)

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T T の授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

T T …担当の教師が進める授業に、教師とスクールサポーター（教職補助員）がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

● 通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒は年々増加しています。

平成30年度も学習支援などを有効に進めていけるよう、スクールサポーターをより一層効果的に活用していきたいと考えています。

■二期制

市内全ての中学校において、二期制を実施しました。二期制のメリットは以下のとおりです。

○二期制のメリット

- ・ 学校生活に時間的なゆとりができ、学習や活動が充実する。
- ・ 授業時間数が増え、学習内容がよく分かるようになり、基礎・基本の学力定着を図ることができる。
- ・ 音楽、美術、技術家庭などの教科では、ゆとりをもって活動に取り組むことができる。
- ・ 学校生活や進路選択について、先生とじっくり相談する時間が増えるとともに、学力のより正確な評価を行うことにより、よりよい進路選択が可能になる。

一方、前期・後期の途中に夏季・冬季の長期休業が入り、学校生活が途切れ、学習の継続性やリズムが失われるといったデメリットもあります。これについては、長期休業の前に二者・三者懇談を行い、それまでの学習状況について具体的に指導することで、各中学校で対応しました。

あま市二期制の経緯、二期制の概要については以下のとおりです。

○あま市二期制の経緯

- ・ 平成19年度から、七宝北中学校において学校目標を実現させる手立ての一つとして二期制を実施。
- ・ 合併後、七宝北中学校を二期制の研究校とし、教育委員会の承認を受け二期制を継続実施。
- ・ 平成29年度から、市内5中学校において二期制を実施。

○二期制の概要

- ・ 現行の三学期制のまま、1 年を前期と後期の二期に分ける。

入学式・始業式→夏休み→引継ぎ式→冬休み→卒業式・修了式

二期制実施状況を把握するため、平成30年2月に以前から二期制を実施していた七宝北中学校を除く4つの中学校においてアンケートを実施しました。中学校3年生保護者アンケートの結果（一部抜粋）は以下のとおりです。

○中学校3年保護者アンケート結果（一部抜粋：平成30年2月実施）

- ・ 学校は、行事に対して時間をかけて計画的に準備を進め、取り組めるように工夫をしている。

あてはまる 28.0% だいたいあてはまる 58.6%

あまりあてはまらない 11.2% あてはまらない 2.3%

- ・ 7月（8月）や12月の三者懇談では、子どもの学習や生活の様子について、詳しく知ることができた。

あてはまる 31.6% だいたいあてはまる 49.7%

あまりあてはまらない 15.5% あてはまらない 3.2%

平成30年度より市内全ての小学校においても二期制が実施されます。実施に向け、二期制準備委員会を開催しました。二期制準備委員会では、小学校保護者向けに配付する二期制のリーフレットを作成したり、通知表の表記の仕方について検討したりしました。

※ アンケート結果からも分かるとおり、中学校においては保護者や生徒に二期制導入についての狙いなどの説明を丁寧に行った上で導入したことで、成果を上げることができました。

- 平成30年度は、二期制導入後の保護者の声などをアンケートなどで集約し、よりよい二期制の在り方について検討を重ねていきます。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、外国人（5人）と邦人（4人）の非常勤講師を英語指導助手（ALT）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- （1）中学校の英語科授業における英語指導
- （2）小学校の英語活動における英語指導
- （3）授業で使用する教材の作成
- （4）教員に対する現職研修
- （5）授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- （6）研修やミーティングへの参加

・ 小学校：英語指導助手 9人（アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、日本）

・ 中学校：英語指導助手 5人（アメリカ合衆国、カナダ、イギリス）

※ 各小学校では、ALTとのTT指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、ALTと英語教師によるTT指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

- 平成32年の新学習指導要領全面実施にかかわり、小学校中学年は年間35単位時間の外国語活動、小学校高学年は年間70時間の外国語科が実施されます。今後は、ALTといった人的環境やICTといった物的環境を整備していく必要があります。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」・「教育相談活動」・「不登校などの指導及び支援」を三つの柱とし次の事業を実施しました。

○学校教育支援事業

学校における日々の指導の中で、子ども同士の関わりや高まりを大切にした学級経営や授業の改善を進める必要があります。そこで校内における現職教育や「あま市教職員研修」の充実をめざして、「教育アドバイザーの派遣事業」と「Ama Teachers College」を実施しました。

・教育アドバイザー派遣事業

各学校の教科指導、児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招きました。

・Ama Teachers College

教員の力量向上を目指して年10回の講座を実施しました。児童生徒の正しい理解を目指して、特別支援教育やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義及びリスクマネジメントや授業づくりに関する講義が行われました。

○教育相談事業

学校生活や教育活動上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

【職員】	・教育相談員	1人
	・心理支援相談員	3人
	・学校支援アドバイザー	1人
	・親と子の相談員	1人

【教育・心理 相談面接件数（巡回指導含む。）】

・保護者	634件	
・児童生徒	742件	
・教職員	682件	
・教室訪問	407件	合計 2,465件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生徒指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

【職員】	専任指導員	1人
	補助員	6人

【通室者】	・平成29年度：適応指導教室の登録者数	42人
	平成28年度よりの継続	22人
	平成29年度新規登録者	20人
	・適応指導時間数	延べ2,730時間
	・平成29年度：適応指導教室の登録者の歩み	
	学校復帰	16人
	卒業（中学3年生12人）	12人

※ 学校支援室、教育相談室、適応指導教室など学校教育活動の支援体制を充実することができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

- 平成30年度は、教育相談センターに新たに、派遣指導員2名・教育相談支援員1名を配置しました。不登校児童生徒については、一人ひとりの状況を丁寧に把握し、支援していきます。また、新たな一人を生み出さないためにも市教育委員会・学校と連携を図りながら児童生徒支援を進めていきます。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでおり、児童生徒数の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、未来を担う子ども達「あまっ子」をとりまく教育・学校運営等の面における適正な学習環境の構築を目的に、平成29年度は2地区において地区委員会を設置し市民の意見を聴きながら検討をしました。

○七宝北中学校地区委員会

- ・七宝北中学校の適正規模化に向けた手法として「学校選択制の導入」について検討することを目的に、七宝北中学校地区委員会を組織しました。

地区委員会（3回開催）

10月19日、1月18日、3月15日

○甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会

- ・甚目寺東小学校・正則小学校の適正規模化を図るため、甚目寺東小学校の学区の一部を正則小学校の学区に変更することについて検討しました。

- ・地区委員会（5回開催）

6月7日、8月31日、11月29日、2月16日、3月15日

- ・適正規模化に関する保護者・住民現状報告会

1月20日、2月3日

※ 七宝北中学校地区委員会は、平成28年度に篠田小学校・美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会から提出された意見書を踏まえ、七宝北中学校の適正規模の手法として、学校選択制を検討するため協議をおこないました。その結果、学校選択制については特定地域選択制を導入し、選択可能区域については七宝小・篠田小・美和東小の学校区全域とする方向性や導入時期の目標を平成32年度にすることを確認できました。

また、甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会では、適正規模化に向けた学区変更の課題等について協議を重ね、保護者へのアンケート及び該当地区への報告会を開催しました。その結果、各委員の意見を集約し地区委員会として「現段階で学区変更の実現は困難であるが、今後も両地区の理解を深め適正規模に向けた機運の醸成を行う。」趣旨の意見書がまとめられ、教育委員会に提出されました。

- 平成30年度以降は、七宝北中学校への学校選択制の導入に向けて、啓発、PR及び具体的な調整を七宝北中学校地区委員会で検討しながら進めていきます。甚目寺東小学校・正則小学校の適正規模化については、両地区の理解を深める方を学校と相談しながら、検討していきます。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成29年度の研究主題を『人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係をはぐくむ教育 ～「人権尊重の教育の視点」を指針とし、子どもたちの実践的態度を培うために～』として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

○会 長 甚目寺小学校長

○事業費 800,000円（市補助金）

○主な活動内容

- ・海部地区人権教育講演会実施
- ・全国人権・同和教育研究大会等参加

- ・研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

- 平成30年度も「部落差別の解消の推進に関する法律」（H28. 12施行）の趣旨を踏まえ、教育及び啓発を行っていきます。

■県委託事業

○キャリアスクールプロジェクト（中学校）

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の2年生を対象に実施しました。

- ・事業費 482,970円（うち県委託金 170,000円）

学 校 名	参加生徒数	実 施 日	受 入 事業所数
七宝中学校	153名	6月21日～23日	49か所
七宝北中学校	59名	6月13日～15日	19か所
美和中学校	231名	10月24日～26日	60か所
甚目寺中学校	218名	11月7日～9日	58か所
甚目寺南中学校	197名	10月24日～26日	41か所

※ 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

- 平成30年度も、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感できるキャリア教育を推進していきます。

○道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業

愛知県の委託事業として、児童生徒の心に響く道徳教育の指導のあり方について研究を深めました。

- ・事業費 160,000円（うち県委託金 160,000円）
- ・実施校 伊福小学校
- ・実施学年 全学年
- ・事業内容 外部講師を招いた道徳研修会
教員の力量向上
児童の道徳の授業における学びの向上

※ 外部講師を招き、教材開発、指導方法などを学び、職員の指導力向上を図りました。また、人間関係を学ぶ学習をとおして自己肯定感を高め、道徳的実践力の育成を図りました。

- 平成30年度も、子どもたちの道徳性を養うため、道徳の指導方法や評価の工夫・改善等について引き続き取り組んでいきます。

○キャリアスクールプロジェクト（小学校）

愛知県の委託事業として、地域の方を招いて講話や体験活動等を実施することで、児童が働くことや人の生き方について自らの考えを深めることができました。

- ・事業費 133,000円（うち県委託金 133,000円）
- ・実施校 美和東小学校

- ・実施学年 全学年
- ・事業内容 地域の方を招いた職業講話
農業、木工、フラワーアレンジ、お菓子作りの体験活動
体験活動等についての感想の発表会

※ 地域で働く人々を講師にして、職業について考える会を開催しました。また、地域の協力を得て、グループに分かれ事業所等で実際に職業体験をし、職業講話や職業体験により学んだことを発表しました。

この事業を通して、将来の職業について興味や意欲を持つことができました。

- 平成30年度も、働くことや人の生き方に感動や憧れを抱き、目標に向かって努力する態度を育成することができるキャリア教育を推進していきます。

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 6,369,420円（全小中学校合計）
- ・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

7月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、10月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。事業の主なものについては次のとおりです。

- (1) 教師の資質向上を図り学校の教育力を高める事業
- (2) 子どもの基礎学力向上を図り確かな学力を育成する事業
- (3) 豊かな心づくりとたくましい体力づくりに関する事業
- (4) 学校を開き、家庭・地域・学校が連携し、「地域に密着した学校づくり」に関する事業
- (5) その他特色ある学校づくりに関する事業

※ 6年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

- 審査会を実施することで、限られた市の予算を「より熱い思いの事業」に配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりをめざし、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

■キッズ防犯体験教室事業

- ・事業費 440,640円（全小学校合計）
- ・実施校 市内全12小学校（3年生のみ）

自立心が芽生え、友達と出かける行動範囲も広がってくる小学校3年生の児童を対象に、自身に危険が迫った時に自分の身を守る方法を練習する防犯体験教室を実施しました。

学校名	実施日	学校名	実施日
七宝小学校	平成30年 2月23日(金)	篠田小学校	平成29年 12月12日(火)
宝小学校	平成30年 2月20日(火)	美和東小学校	平成29年 11月14日(火)
伊福小学校	平成30年 1月22日(月)	甚目寺小学校	平成30年 1月25日(木)
秋竹小学校	平成29年11月24日(金)	甚目寺南小学校	平成29年 7月14日(金)

美和小学校	平成 29 年 12 月 8 日(金)	甚目寺東小学校	平成 29 年 10 月 17 日(火)
正則小学校	平成 29 年 11 月 21 日(火)	甚目寺西小学校	平成 30 年 1 月 24 日(水)

※ 児童が不審者から身を守るための方法を身に付けることができ、児童一人ひとりに「自分の身は自分で守る」という危険回避の意識を培うことができました。また、紙芝居を用いた分かりやすい説明や実際の状況を想定した訓練体験により、防犯意識の向上につながりました。

- 平成 30 年度も見守り隊や P T A に参加していただき、地域との連携を図っていきます。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

平成 24 年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、次の活動を行うものとしています。

- (1) 講師は、登録された分野に係る指導、講座の実施等を学校の依頼に応じて行うものとする。
- (2) 学校支援ボランティアは、学校の依頼に応じて、登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援を行うものとする。

今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やしていく予定です。

また、人材バンクと併せて「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業を市内全ての小学校で計 12 回実施しました。

また、平成 27 年度から、小学校高学年の希望者を対象に「あま市ものしりジュニア選手権」を実施しています。

※ 地元の人材を掘り起こし、有効活用を図る教育人材バンクの設置、及び出前授業の実施は、地域に密着する市民協働のまちづくりの第一歩として効果を上げる事ができました。また、ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

- 今後も、学校が必要とする人材に関する情報を提供していきたいと考えています。また、「あま市ものしりジュニア検定」をはじめとしたふるさと学習を進めていきます。

■Ama Teachers College

平成 23 年度から始まった教師力パワーアップ講座とあま教師塾を統合し、名称を Ama Teachers College としました。平成 29 年度は講座にテーマを設定し、参加者を募りました。日頃いろいろな問題に出会い、教師としてその解決に戸惑う場面に突き当たることが多くあり、そのような時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることがこの講座のねらいです。

回	講 座 内 容	講 師	参加人数
1	こんなにもある四役の仕事とは？	あま市教育委員会教育長 松永 裕和 氏	18 人
2	教育論文の書き方	津島市立南小学校長 浅井 厚視 氏	17 人
3	知っておきたい法令研修	甚目寺中学校 大野 正親 氏	29 人
4	子どもを引き付ける授業のわざ	小学校教員 遠藤 孝 氏	48 人

5	通常学級の中で障がいのある子どもの指導法について	愛知淑徳大学 佐藤 賢 氏	82人
6	危機管理講座・クレーム対応	弁護士 庄司 俊哉 氏	71人
7	知っておきたい検査のこと	あま市相談センター 臨床心理士	51人
8	子どもと保護者の心に届く魔法の言葉がけ	心の教育相談員 加藤 利彦 氏	48人
9	教科・道徳を考える	岐阜聖徳大学 玉置 崇 氏	70人
10	新学習指導要領… 今準備すること	清須市教育委員会 柴田 和明 氏	40人

訪問研修	あま市の教育について	あま市教育長 松永 裕和 氏
訪問研修	今、小学生に必要な食育	前愛知瑞穂短期大学 上原 正子 氏
特別研修	二期制実施に向けて	名古屋女子大学 榊川 知 氏

※ 教員の資質や力量の向上のため、校内では十分に行うことのできない研修について補充・支援や充実を図ることができました。

- 今後も、教職員が参加したくなるような内容の研修会を設定していきます。また、次年度からは、あま市の教職員に身に付けてほしい力を洗い出し、小中学校に講師を派遣する形の研修会を取り入れたいと思います。

■学校支援会議

平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（通称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

平成29年度については、七宝中学校（4月）と甚目寺南中学校（1月）から要請があり学校支援会議を行いました。

- ① 家庭への働きかけや保護者に対する指導
- ② 学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請
- ③ 緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。

- ・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良く考える教職員）

- ・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー

- ① あま市教育委員会（指導主事など）
- ② あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）

- ・会議の必要に応じて招集するメンバー

- ③ 海部児童・障害者相談センター
- ④ 警察関係者

- ⑤ 学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）
- ⑥ 学校医・学校歯科医・あま市民病院
- ⑦ あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立したことは画期的で、地域に密着した学校づくりを進めることができました。

- 今後も、必要に応じて「あま市学校支援会議」を開催することで、学校と家庭・地域などが連携・協働して問題解決ができる体制づくりを進めていきます。

■あまっ子宣言

あまっ子宣言ファイルを作成し、児童生徒に配布しました。

あまっ子宣言の唱和やあまっ子宣言を取り入れた授業等を行いました。

- 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいきます。

■弁当の日

弁当の日を市内全ての小中学校で実施しました。児童生徒が自分の弁当を自ら準備する活動を通して、食への関心を高めたり、食事の用意をする家族への感謝の気持ちをもたせたりすることをねらいとしています。また、そのような活動を行わせることで、児童生徒の自立心が培われます。

○各校の取組例

- ・手作り弁当を持参して各教室で会食会を開く。
- ・家で作ったおにぎらずを学校に持ってくる。
- ・小中交流会に手作り弁当を持参する。
- ・家庭科で準備し学級ごとに会食する。

○児童生徒アンケート

- ・何を作ろうかと冷蔵庫と相談しながら作りました。計画通りにはいかなかったけど頑張りました。毎朝お兄ちゃんとお父さんの弁当を作っているお母さんを改めて尊敬しました。
- ・お弁当を一から作ったことはなかったので大変でした。今日作ったものは、これからは家で作ってみたいと思いました。

○保護者アンケート

- ・朝の限られた時間の中で作ることは大変だったと思いますが、その分、前日の夜に準備をするなど計画的に進められたと思います。一つのお弁当を作る大変さも分かったと思います。
- ・前日から材料の買い物や下ごしらえなど普段しないことを頑張ってやっていました。台所に子どもと一緒に立つことができ、楽しい時間を過ごすことができました。

※ 児童生徒や保護者のアンケートより、弁当の日の取組を通してねらいに迫ることができたと考えます。弁当の日にかかわる教員向け研修会を各校で実施したことで弁当の日のねらいを教員一人ひとりがしっかりと認識し、家庭へ伝えることができたからだと考えます。

- 今後は取組を継続していくことで、市内全ての児童生徒に弁当の日の活動を通して自立心などを培っていきます。

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

国際大会 5人

全国大会 31人（3団体）

・事業費 390,000円

※ あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

● 教育、文化又はスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場する市民及び団体に対して、報奨金を交付することにより、市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上を奨励します。

■小中学校施設整備事業

安全安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○甚目寺小学校体育館吊天井改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

屋内運動場等の大規模な吊天井を有する施設は、地震発生時において甚大な被害が発生する可能性が高いため、大規模な吊天井を有する甚目寺小学校体育館の改修工事を行いました。

・事業内容 吊天井の撤去、屋根防水改修、外壁補修、照明LED化、音響消防設備改修、ガラス部飛散防止フィルム貼り、体育室床改修

・事業費 70,250,760円（平成28年度繰越事業）

○七宝北中学校体育館吊天井改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

屋内運動場等の大規模な吊天井を有する施設は、地震発生時において甚大な被害が発生する可能性が高いため、大規模な吊天井を有する七宝北中学校体育館の改修工事を行いました。

・事業内容 吊天井の撤去、屋根防水改修、外壁補修、照明LED化、音響消防設備改修、ガラス部飛散防止フィルム貼り、体育室床改修

・事業費 76,259,880円（平成28年度繰越事業）

○甚目寺南中学校体育館吊天井改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

屋内運動場等の大規模な吊天井を有する施設は、地震発生時において甚大な被害が発生する可能性が高いため、大規模な吊天井を有する甚目寺南中学校体育館の改修工事を行いました。

・事業内容 吊天井の撤去、屋根防水改修、外壁補修、照明LED化、音響消防設備改修、ガラス部飛散防止フィルム貼り、体育室床改修

・事業費 90,589,320円（平成28年度繰越事業）

○篠田小学校公共下水道接続工事（学校施設環境改善交付金事業）

篠田小学校地区は、平成28年度より公共下水道の供用開始区域となっているため、下水道への接続工事を行いました。

・事業内容 公共下水道への接続工事

・事業費 25,704,000円（平成28年度繰越事業）

○秋竹小学校キュービクル改修工事

一般的な耐用年数20～30年に対し、建築当時から30年以上改修を実施しておらず、漏電によるショートの危険性が常に高い状態となっていた秋竹小学校のキュービクル改修工事を行いました。

- ・事業内容 受変電設備、高圧引込用負荷開閉器及び高圧ケーブルの更新、受変電設備基礎増設、フェンス更新
- ・事業費 8,584,380円

○甚目寺東小学校キュービクル改修工事

一般的な耐用年数20～30年に対し、建築当時から30年以上改修を実施しておらず、漏電によるショートの危険性が常に高い状態となっていた甚目寺東小学校のキュービクル改修工事を行いました。

- ・事業内容 受変電設備、高圧引込用負荷開閉器及び高圧ケーブルの更新、受変電設備基礎増設、フェンス更新
- ・事業費 9,003,204円

○美和中学校キュービクル改修工事

一般的な耐用年数20～30年に対し、建築当時から30年以上改修を実施しておらず、漏電によるショート危険性が常に高い状態となっていた美和中学校のキュービクル改修工事を行いました。

- ・事業内容 受変電設備、高圧引込用負荷開閉器及び高圧ケーブルの更新、受変電設備基礎増設、フェンス更新
- ・事業費 8,920,800円

○甚目寺小学校障がい児等対策施設整備工事

車椅子の使用が必須である児童のため、校内の段差解消及び車による送迎場所へ庇設置等施設整備工事を行いました。

- ・事業内容 床スロープ新設（2ヶ所）、庇設置
- ・事業費 3,780,000円

※ この改修工事を実施することにより、児童・生徒が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

(2) 生涯学習課

■公民館事業

市民の学習ニーズにあった学習の機会を提供し、自発的な学習意欲を喚起するとともに、知識や趣味を広げるきっかけ作りとしました。

○社会教育講座

美和公民館

各回テーマ	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
退職後の生活設計	5月13日 (土) 午前	一般	6回	25名	25名	33名
ピアノ名曲案内 —お話・演奏とともに—	6月3日 (土) 午後					
あま市周辺で発生する地震 と地震災害	7月1日 (土) 午前					
ラダーゲッターを楽しもう！	7月22日 (土) 午前					
ジョギングやウォーキング が健康や身体に及ぼす影響 を考えよう！	9月2日 (土) 午前					
はじめてのノルディック ウォーキング	9月9日 (土) 午前					

七宝公民館

各回テーマ	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
ああ、そうだったのか、お伊勢さん—神話から現在まで—	10月20日 (金) 午前	一般	6回	30名	30名	60名
できる人になる！片づけ基本講座	11月10日 (金) 午前					
バルーンで作るサンタと雪だるまのクリスマスリース	12月22日 (金) 午前					
頑張らないウォーキングのすすめ	1月26日 (金) 午前					
ディズニープリンセスと女性の活躍 ～変わり始めたヒロインたち	2月16日 (金) 午前					
体幹トレーニング	3月9日 (金) 午前					

○公民館講座

各種講座を開催し、市民が知識や趣味を広げる機会を提供しました。

七宝公民館

前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パソコン講座 初めてのパソコン	一般	8回	15名	15名	18名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	一般	6回	15名	15名	48名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	一般	8回	15名	15名	46名
パソコン講座 初心者のためのワード	一般	6回	15名	15名	40名
パソコン講座 初心者のためのエクセル	一般	6回	15名	15名	34名
楽しく学ぶ英会話レッスン (Writing Class)	中学生以上	5回	15名	12名	12名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パソコン講座 初めてのパソコン	一般	8回	15名	15名	18名
日本の曲で踊るフラ	女性	5回	15名	15名	42名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	一般	6回	15名	15名	30名
パソコン講座 ワード基礎	一般	8回	15名	15名	28名
パソコン講座 エクセル基礎	一般	8回	15名	15名	27名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス (託児有)	一般	8回	15名	15名	65名
パソコン講座 初心者のためのパワーポイント	一般	6回	15名	15名	24名

美和公民館
前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パン作り	一般	5 回	24 名	24 名	49 名
認知症予防講座 ～コグニサイズで楽しく予防～	65 歳以上	5 回	20 名	20 名	42 名
楽しく学ぶ英会話レッスン (Speaking Class)	中学生以上	5 回	15 名	14 名	14 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パン作り	一般	5 回	24 名	24 名	44 名
認知症予防講座 ～コグニサイズで楽しく予防～	65 歳以上	5 回	25 名	25 名	37 名
国際理解教育講座 ～もっと外国を知ろう～	一般	5 回	25 名	24 名	24 名
認知症予防講座 ～社交ダンスをしよう～	50 歳以上	8 回	28 名	20 名	20 名
エンディングノート	一般	2 回	30 名	30 名	41 名
クリスマスケーキ作り	一般	1 回	24 名	24 名	48 名

甚目寺公民館
前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	一般	3 回	15 名	15 名	36 名
親子で学ぼう『茶道ってなに？』	親子	5 回	10 組	5 組 10 名	5 組 10 名
かいて楽しい、もらってうれしい絵手紙～絵手紙はヘタでいい、ヘタがいい～	一般	5 回	10 名	15 名	32 名
ゆかたの着付け（託児有）	女性	1 回	25 名	16 名	16 名
楽しく学ぶ英会話レッスン（Starting Class）	中学生以上	5 回	15 名	15 名	15 名
小学生パソコン道場	小学4年生～6年生	1 回	10 名	9 名	9 名
初心者のためのヨーヨー講座	小学生以上	2 回	10 名	12 名	12 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	一般	3 回	15 名	15 名	29 名
アクリル絵の具による洋画講座	高校生以上	5 回	15 名	10 名	10 名
子どもたちをインターネットトラブルから守ろう！	一般	1 回	20 名	中止	0 名
上手に書ける毛筆	一般	3 回	15 名	10 名	10 名
着物の着付け（託児有）	女性	5 回	25 名	27 名	28 名
イキイキ！元気な健 ^{けんこう} 口づくり教室	一般	2 回	15 名	2 名	2 名
子育てコンシェルジュに学ぶ子育て	子育て中の方等	1 回	10 名	中止	0 名
もう 12 月？でも大丈夫！スッキリ片付け・大掃除のコツ！	一般	1 回	30 名	28 名	30 名

○親子ふれあい講座

小学生とその保護者対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としました。
七宝公民館
前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子キャンドル作り	親子	1 回	15 組	6 組 11 名	6 組 11 名
親子パン作り	親子	1 回	12 組	9 組 18 名	9 組 18 名
親子デコレーションカップケーキ	親子	1 回	15 組	8 組 15 名	8 組 15 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子フラワー①	親子	1 回	15 組	6 組 10 名	6 組 10 名
親子フラワー②	親子	1 回	15 組	5 組 7 名	5 組 7 名
親子パン作り	親子	1 回	12 組	9 組 18 名	9 組 18 名
親子スイーツデコレーション	親子	1 回	20 組	7 組 13 名	7 組 13 名
親子練りきり	親子	1 回	12 組	9 組 17 名	9 組 17 名
親子お菓子作り	親子	1 回	12 組	12 組 21 名	12 組 21 名

○親子（ふれあい）鑑賞会

親子対象の事業を実施し、親子のふれあいの場を提供しました。

事業名	事業内容	開催日時	会場	入場者数
親子ふれあい 音楽会	マリンバ&パーカッション アンサンブルグループ 『BIRTH』公演 「カーニバル」 「FIVE」、「女学生」他	平成30年1月14日(日) 午前11時～	美和文化会館 大ホール	390名
親子ふれあい 伝統的人形劇 鑑賞会	甚目寺説教源氏節 『もくもく座』新春公演 「由良港千軒長者三庄太夫 一代記 ～国分寺家探し の段～」他	平成30年1月21日(日) 午後2時～	甚目寺公民館 講義室	52名
おやこ人形劇 鑑賞会	人形劇団『むすび座』公演 「おおきなかぶ」 「泣きむし大男」	平成30年2月3日(土) 午前10時30分～	甚目寺公民館 講義室	83名

○図書室・読書室事業

幼児・児童とその親が絵本などにふれあう機会を提供しました。

事業名	事業内容	回数	参加者数	会場
この本だいすきの会の よみきかせ	幼児・児童向け絵本のよみ きかせ	40回	104名	甚目寺公民館 図書室
おどうぐばこの かみしばい	幼児・児童向けかみしばい	12回	58名	甚目寺公民館 図書室
もこもこのおはなし会	親子で楽しむ絵本とわらべ うた	23回	283名	甚目寺公民館 教養室
		10回	54名	七宝公民館 和室

○図書室・読書室利用者数・年間貸出冊数

図書室・読書室	利用者数	年間貸出冊数	蔵書冊数
七宝公民館読書室	783人	2,900冊	14,040冊
甚目寺公民館図書室	16,310人	44,197冊	36,382冊

○ブックスタート事業

はじめての本との出会いとして、絵本を通じて親子のふれあいの時間を持つことの大切さと、読み聞かせを実践しながら、絵本を手渡しました。

事業名	回数	対象者数	会場
ブックスタート事業	12回	154名	七宝保健センター
	12回	160名	美和保健センター
	21回	370名	甚目寺保健センター

○パソコン相談室

パソコンで悩みを抱えている方への支援策として、パソコン相談室を開きました。

事業名	回数	対象者数	会場
パソコン相談室	24回 (3名のボランティアの協力により実施)	65名	七宝公民館 読書室
	12回 (甚目寺パソコンクラブ委託分)	71名	甚目寺公民館 児童室
	9回 (五条高等学校パソコン部委託分)	36名	甚目寺公民館 児童室
	8回 (美和パソコンフォーラムによるボランティア協力)	51名 ※8月から開催	美和歴史民俗資料館 研修室

※ 公民館事業を通じて、幅広く学習の場を提供することができました。また、健全な地域コミュニティの形成に繋がりました。

- 平成29年度の実績を踏まえながら、平成30年度も継続及び新規の講座を開催していきます。

■成人式事業

成人の日を迎えたことを祝し、これから一層飛躍されることを願って、市と市教育委員会の共催により、成人式を実施しました。

- ・日時及び場所 平成30年1月7日(日)
 甚目寺地区：午前 9時30分開始 甚目寺公民館大ホール
 七宝・美和地区：午前10時30分開始 美和文化会館大ホール
- ・行事の内容 式典、成人式実行委員会企画
- ・記念品 印鑑付ボールペン
- ・新成人 平成9年4月2日～平成10年4月1日生れ
- ・対象者 904人(男性480人、女性424人)
- ・参加者 671人(男性337人、女性334人)
 <参加率約74.2%>

上記の他、市外からの参加を希望した新成人

43人(男性18人、女性25人)

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者により、受付、司会、アトラクション等が行われ、記憶に残る式典となりました。

● 成人式を開催することで、社会人としての自覚と責任感を促します。平成30年度も実行委員会による運営を行います。

■シルバーカレッジ事業

60歳以上の方々に、学び、交流、健康づくりの場を提供するため、シルバーカレッジを開催しました。

	授業内容	開催日
1	入学式・落語講演	6月3日(土)
2	出前講座・自己紹介	6月7日(水)
3	あま市をもっと好きになる！ ～歴史・文化をたどる～	6月14日(水)
4	あま市史跡めぐり①	6月21日(水)
5	あま市史跡めぐり②	6月28日(水)
6	めざせ「あま市ものしりマイスター」！	7月5日(水)
7	異文化コミュニケーション	7月12日(水)
8	救命講習	7月26日(水)
9	認知症ケアと回想法	8月2日(水)
10	ゼロから始めるタブレット① タブレットを操作してみよう	8月23日(水)
11	ゼロから始めるタブレット② 便利な機能を暮らしに活かそう！	8月30日(水)

12	ゼロから始めるタブレット③ デジタル社会を生きる！タブレット応用編	9月6日（水）
13	思いをつなぐ ～子どもたちへできることとは～	9月20日（水）
14	正しい口腔ケアでお口と全身を健康に！	9月27日（水）
15	ご用心！身近に潜む消費者トラブル	10月4日（水）
16	七宝みそ・しょうゆ ～食べて感じる地元の味～	10月11日（水）
17	コミュニケーション力アップ！ たくさんの人と交流できるようになろう	10月18日（水）
18	七宝焼を作ろう！	10月25日（水）
19	甚目寺説教源氏節を鑑賞しよう！	11月8日（水）
20	読書で交流 ～本を読む・伝える楽しさ～	11月15日（水）
21	社会見学（中部国際空港）	11月29日（水）
22	運動不足を解消！すぐできる健康体操	12月6日（水）
23	エンディングノートを書いてみよう	12月13日（水）
24	大震災に備える ～災害時にすべきこととは～	12月20日（水）
25	卒業文集・アルバムを作ろう！①	1月10日（水）
26	卒業文集・アルバムを作ろう！②	1月17日（水）
27	交通事故防止講習	1月31日（水）
28	卒業式・卒業証書授与	2月10日（土）

- ・会 場 美和文化会館シルバーカレッジ教室
- ・時 間 午前9時30分から午後0時30分まで
- ・対 象 あま市在住・在勤の60歳以上の方
- ・入 学 生 45名
- ・申込者数 74名

※ シルバーカレッジを通して、学びや交流の場を提供することにより、地域コミュニティの活性化や、互いに助けあえる共助の生活に寄与することができました。

● 平成30年度もシルバーカレッジの目的を踏まえながら事業を実施します。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えている現状があります。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、幼児期家庭教育講座を開催しました。

○幼児期家庭教育講座

講 座 名	開催場所	受講者数
消防署へ行こう！ ～消防署見学と応急手当～	海部東部消防署	14 組 44 名
にこにこ学級（前期）	美和公民館	21 組 42 名
おやこであ・そ・ぼ（前期）	七宝児童館	18 組 36 名
ドロンコ遊びをしよう	美和ライスセンターの田んぼ	14 組 42 名
人形劇を楽しもう 「ミーくんとまほうのたね」	甚目寺公民館	29 組 61 名
親子で工場見学（前期） ～明治なるほどファクトリー～	明治乳業愛知工場	57 名
七夕まつり	美和公民館	6 組 13 名
赤ちゃんと一緒にベビーダンス♪	七宝児童館	16 組 32 名
にこにこ学級（後期）	甚目寺総合福祉会館 美和公民館	25 組 50 名
助産師さんと話そう ～男の子（乳幼児）を持つママのための 講座～	甚目寺公民館	21 名
おやこであ・そ・ぼ（後期）	甚目寺総合福祉会館	20 組 40 名
クリスマスを食べよう	美和公民館	10 組 20 名
凧を作って遊ぼう	七宝焼アートヴィレッジ	19 組 60 名
親子で工場見学（後期） ～明治なるほどファクトリー～	明治乳業愛知工場	52 名
飾り巻きずしを作ろう	美和公民館	8 組 15 名
		6 組 17 名

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化し、そのあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

学校名	主な内容
七宝小学校	実技講習（カジュアルデニムリースづくり）、実習（ふれあい除草）
宝小学校	実習（親子ふれあい除草）、実技講習（クレイ盆栽作り体験）
伊福小学校	講演（ケイタイ依存脱出法）、パンフ作製（伊福小すこやか子育て宣言）
秋竹小学校	実技講習（マグカップ作り）、実技（親子ふれあい除草）
美和小学校	実技講習（親子ハンドマッサージ、アートフラワーによるひな人形作り）
正則小学校	実技（親子除草）、実技講習会（読み聞かせ講習会）
篠田小学校	実習（家族学級親子共同制作活動）
美和東小学校	講演（豊かな心を育む）
甚目寺小学校	実技講習（3Dカード作り、クラウンパフォーマンス&バルーン教室）
甚目寺南小学校	実技講習（クイリングでフォトフレーム作り）
甚目寺東小学校	実技講習（リラックスヨガ）（アロマワックスケーキキャンドル作り）
甚目寺西小学校	実技講習（YOGA教室）（UVレジンアクセサリ講習会）
七宝中学校	講演（スマホ・ネットに潜む危険）
七宝北中学校	講演（愛知県に避難されている方の声を聞く会）、実技講習（陶芸教室）
美和中学校	講習（PTA家庭教育講演会）、実習（クリーン作戦）
甚目寺中学校	実技講習（食欲の秋 中学生のおなかを満たすおいしいパン） （自分で作ったコサージュを胸に卒業式入学式へ）
甚目寺南中学校	実技講習（紙で作る和モダンしめ縄リース）

○子育てサロン

子育て中の親子が気軽に集える場を提供しました。

開催日時	回数	参加者数	会場
8月・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分	20回	134組288名	七宝公民館 和室
8月・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時	30回	186組370名	甚目寺公民館 談話室

※ 各種事業を通して、子育ての悩みを相談したり、家庭教育について考える機会を提供しました。

● 平成30年度も子育ての一助となるよう事業を実施します。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○夏期街頭パトロール（参加者24日間・延べ202人）

平成29年7月20日（木）～平成29年8月31日（木）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○サマーキャンプ事業（参加者130人）

平成29年7月29日（土）、30日（日）に夏休みを利用した「野外活動」を通じて、電気・ガス・水道等の重要性や小学校間の異学年児童たちの交流を図る、あま市青少年キャンプを行いました。

○「第5回あまつり2017」夜間街頭パトロール（参加者22人）

平成29年8月19日（土）に会場となった七宝焼アートヴィレッジ周辺の街頭パトロールを行いました。

○「イルミネーション点灯式」街頭パトロール（参加者22人）

平成29年11月25日（土）美和文化会館の「イルミネーション点灯式」において、街頭パトロールを行いました。

○「あま市人権講演会」啓発（参加者22人）

平成29年11月26日（日）にあま市人権講演会において、啓発資材（冷凍保存パック）の配布を行いました。

○冬期街頭パトロール（参加者12日間・延べ135人）

平成29年12月22日（金）～平成30年3月23日（金）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○青少年健全育成特別講演会（参加者85人）

平成30年1月20日（土）に七宝公民館において、NPO法人再非行防止サポートセンター愛知理事長 高坂朝人氏による「非行少年は、自分と未来を変えられる」と題して特別講演会を行いました。

○「家庭の日」県民運動啓発

平成30年2月1日（木）～平成30年2月28日（水）各公民館で啓発資材（エイトバン）を配布しました。

スローガン「親と子の 対話がつくる よい家庭」

○中学校卒業式前夜パトロール（参加者17人）

市内各中学校卒業式（平成30年3月6日）の前夜の平成30年3月5日（月）、校内及び会場周辺の街頭パトロールを行いました。

※ 非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく多様な交流の機会ができました。そして、大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるのかを考える契機となりました。

● 今後も学校の長期休業中を中心に青少年の非行撲滅の啓発活動を推進していきます。

■人権啓発推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会(共催:あま市小中学校人権教育研究会)

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、講演会を実施しました。

- ・日 時 平成29年8月4日(金) 午後2時～4時
- ・場 所 甚目寺公民館大ホール
- ・講 師 増岡 弘氏
声優・俳優
- ・演 題 「マスオの人権問題考『ことばはプレゼント』」
- ・参加者 586名(対象/市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員他)

※ 講演を通じて、多くの方が人権問題の正しい認識と理解を深めることができました。

- 人権問題に係る正しい認識と理解を深めるため、平成30年度も事業を実施します。

■子ども・若者支援地域協議会事業

子ども・若者支援地域協議会の設立に向けての準備段階として、研修会を開催しました。

研修会

- ・日 時 平成29年9月29日(金) 午後2時～4時
- ・会 場 美和文化会館シルバーカレッジ教室
- ・講 師 田中 成幸(マサユキ)氏
NPO法人育て上げネットユースコーディネーター
- ・テ ー マ 「子ども・若者支援地域協議会設置のポイント」
- ・参加者数 22名(対象/あま市、大治町及び県の関係部局職員)

※ 研修会を通じて、子ども・若者支援地域協議会の役割と設置のポイントについて理解を深めることができ、子ども・若者支援地域協議会設立の足掛かりとすることができました。

- 平成30年11月の協議会設立に向け、平成30年度は勉強会及び設立記念講演会を開催します。

■社会教育団体育成事業

『あま市文化協会』

市民及び市内文化団体が日頃の芸術・文化活動の成果を発表し、市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することを目的とし、市の文化・芸能の発表を積極的に行っている「あま市文化協会」に対し補助金を交付しました。

○第8回あま市文化祭(あま市文化協会主催)

作品展示、生花展示、茶会

- ・日 時:平成29年11月4日(土)、5日(日) 午前9時～午後4時
- ・会 場:七宝公民館、甚目寺公民館、美和文化会館
- ・参加者数:作品展示、生花展示 文化協会45団体612名、一般参加91名
茶会 文化協会6団体

芸能発表会

- ・日 時:平成29年11月4日(土)、5日(日) 午前10時～午後4時
- ・会 場:美和文化会館 大ホール
- ・参加者数:文化協会44団体519名、一般参加6団体141名

第8回あま市民囲碁大会

- ・日 時：平成29年11月12日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場：七宝公民館
- ・参加者数：文化協会3団体60名

第8回あま市民将棋大会

- ・日 時：平成29年11月12日（日）午前9時～午後4時
- ・会 場：甚目寺公民館
- ・参加者数：文化協会3団体51名、一般参加5名

『あま市女性の会』

女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展のために、多くの女性参加が得られるような各種事業を積極的に行っている「あま市女性の会」に対し補助金を交付しました。

○夏まつり盆踊り練習会

- ・日 時：平成29年7月1日（土）午後1時30分～午後3時30分
- ・会 場：甚目寺公民館 講義室1・2・3
- ・参加者数：100名

○主催講座「みんなで楽しく健康づくり」

- ・日 時：平成29年7月13日、27日（木）午前10時～11時30分
- ・会 場：甚目寺公民館 講義室1・2
- ・参加者数：30名

○主催講座「干支の木目込人形作り」

- ・日 時：平成29年11月7日、21日（火）午前9時30分～正午
- ・会 場：甚目寺公民館 研修室
- ・参加者数：20名

○主催講座「手作り味噌の作り方」

- ・日 時：平成30年2月21日（水）午後1時30分～3時30分
- ・会 場：美和公民館 調理室
- ・参加者数：25名

※ 『あま市文化協会』については、市民が文化・芸能活動に触れる機会を設けたことにより、市民の自発的な学習活動の向上を図るとともに、地域住民相互の交流を深め、文化振興に寄与することができました。

『あま市女性の会』については、女性が各種事業に積極的に参加できる機会を設けたことにより、女性の社会参画や地域の交流が深まり、社会教育の発展に寄与することができました。

● 『あま市文化協会』について、文化祭を3会場別日開催すること等、文化祭の開催方法を検討していくことが望まれます。

『あま市女性の会』について、県の女性の会での研修や他自治体の女性の会との交流を通して、一層の女性社会参画に有効な事業を展開することが望まれます。

また、両団体について、事業目的及び市民協働の観点からみても、市の積極的な協力が不可欠と考えられます。両団体と市が協力し合いながらお互いを尊重し合い、補い合い、対等のパートナーとして、共通の目的のために取り組まなければならないと考えられます。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市民一人ひとりの文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内に点在する史跡、寺社の祭事等あわせ各種事業を実施しました。

○企画展示会

下記のとおり、美和歴史民俗資料館にて企画展を実施、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企 画 展 名	開 催 場 所	開催期間	入場者数
戦国の武者絵展	美和歴史民俗資料館	4月22日～ 5月16日	512名
第27回 ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	5月29日～ 6月30日	2315名
夏の企画展 ①セピア色のあま市展 ②夏に会える鳥たち	①美和歴史民俗資料館 ②甚目寺 //	7月30日～ 9月29日	①883名 ②340名
収蔵品展 葛の葉を中心とした役者・芝居絵展	美和歴史民俗資料館	10月6日～ 10月27日	203名
秋の企画展 ①七宝郷土館の逸品展 ②土の中のあま市の歴史	①美和歴史民俗資料館 ②甚目寺 //	11月3日～ 12月25日	①501名 ②378名

○歴史散策事業・歴史ガイド養成事業

市内各地で執り行われる祭事、史跡や文化財をめぐる散策により、市の歴史文化を認識する機会を提供しました。また散策・見学事業を通し歴史ガイドボランティアを養成しました。

テーマ	見学地	開催日	参加者数
無形民俗文化財 「二十五菩薩お練り供養」見学会	蓮華寺	4月16日	4組16名
下萱津のフジと周辺の散策	下萱津周辺とフジ	4月29日・30日	約200名 (両日で)
福島正則を訪ねて 散策会	二ツ寺	5月13日が雨 のため6月17 日に変更	14名
無形民俗文化財「香の物祭」見学会	萱津神社	8月21日	6組10名
無形民俗文化財「湯の花神事」見学会	木田八剱社	10月9日	5組11名
秋の散策会その1 「佐屋街道に行く」	秋竹、桂	10月22日 雨で中止	
秋の散策会その2 「あま市の中部を歩く」	川部、下田、秋竹	11月18日 雨で中止	

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

小学生を対象として、地元の川や生物を調べることにより、市の水文化（田んぼ）の役割と、地域と水との関わり合いを知る機会を提供しました。

内容	開催日	参加者数
水質調査	7月28日	10名
木曽川調査 協力：国土交通省木曽川下流事務所	8月3日	
エコきっずサミット 協働：蟹江町教育委員会	8月18日	

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に周知する機会を提供しました。

講演タイトル	講師	開催日	参加者数
甚目寺観音と釈迦院のはなし	岡部快基氏（住職）	5月20日	52名
古時計の解説とその魅力について	宮崎照夫氏 （古時計コレクター）	5月29日～6月30日までの 毎週土曜、日曜（8回）	延55名
夏の企画展との連動イベント 自然観察会（甚目寺観音・漆部神社）	若山 聡氏 （自然観察指導員）	8月19日	15名
歴史講演会 「あま市の古代寺院と瓦」	梶原義実氏 （名古屋大学准教授）	11月25日	42名
歴史講演会 「中世から近世にかけての津島神社」前後編	羽柴亜矢氏 （愛西市八開郷土資料室 嘱託）	1月27日、28日	延70名
歴史講演会 「あま市下之森のオコワ祭について」	石川稔子氏 （あま市文化財保護審議 会委員）	2月4日	31名
海部歴史講演会 「津島町村渡邊新左衛門と尾張藩 財政」	大塚英二氏 （愛知県立大学教授）	2月17日	208名
歴史ガイド研修会 「中世から近世にかけての津島神社」前後編	羽柴亜矢氏 （愛西市八開郷土資料室 嘱託）	3月17日、18日	延15名

○歴史文化体験講座

坐禅と写経で、古文書解説など歴史文化体験講座を開催し、歴史の奥深さを学ぶ機会を提供しました。

講座名	講師	開催期日	場所	受講者数
カタロマイ 「弥生時代の魅力とは」	資料館職員 (渡邊彩希)	12月16日	シルバーカレッジ教室	16名
坐禅に学ぶ	山田泰信氏 (菊泉院住職)	10月13日・4日、10日(3回)	菊泉院本堂	18名
古文書解読講座	藤井智鶴氏	6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、1月6日、2月3日、3月3日(10回)	シルバーカレッジ教室	22名
しめ縄教室	竹田武夫氏	12月17日	美和歴史民俗資料館	20名

○学校支援事業 移動博物館および資料館見学

歴史民俗資料館の見学あるいは収蔵品を教室へ持ち出し、昔のくらしと生活道具についての授業を実施し、子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

実施日	学校名	内容
10月16日	甚目寺西小	移動博物館
12月12日	宝小	移動博物館
12月19日	甚目寺小	甚目寺歴史民俗資料館見学
1月16日	美和小	美和歴史民俗資料館見学
1月23日	正則小	移動博物館
1月24日	篠田小	移動博物館
1月26日	秋竹小	移動博物館
1月30日	甚目寺東小	移動博物館
2月5日	美和東小	移動博物館
2月6日	甚目寺南小	移動博物館
2月13日	伊福小	移動博物館

- ・対象 3年生児童
- ・持ち出し資料 蚊帳、箱膳、ひのし、いずみ、釜、電話機、徳利、尋常小学校教科書など10点ほど。その他、学校側の要望に応じ適宜持ち出す。

○検定事業

検定を通して市の歴史文化を多くの人々に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。

第6回あま市ものしりジュニア検定

- ・期 間 平成30年1月中旬～30年2月13日
- ・会 場 市内各小学校
- ・対 象 小学6年生
- ・受 検 者 779名
- ・平 均 点 17.8点（25点満点）

実施日	学校名	内容	
12月6日	美和小	あま市ものしりジュニア検定講習会	
12月12日	正則小		
12月21日	篠田小		
1月12日	美和東小		
1月16日	秋竹小		
1月17日	七宝小		
1月22日	甚目寺東小		
1月23日	甚目寺小		
1月24日	宝小 甚目寺西小		
1月25日	伊福小		
2月1日	甚目寺南小		↓

第4回あま市ものしりジュニア選手権

- ・日 時 平成30年2月18日（日）午前10時30分～午後4時
- ・参加者数 33名（三人一組で申込み）
- ・対 象 市内小学4年～6年生児童
- ・会 場 七宝焼アートヴィレッジ交流ホール

第8回あま市ものしり検定

- ・日 時 平成30年3月4日（日）午後2時～
- ・会 場 美和文化会館シルバーカレッジ教室
- ・受 検 者 38名
- ・合 格 者 32名
- ・備 考 2月25日（土）、美和文化会館シルバーカレッジ教室にて事前講習会を実施し、38名が参加しました。検定合格者にはオリジナルのピンバッジを贈呈し、過去4回以上の合格者2名に対し、あま市ものしりマスターの称号を贈りました。

○文化財保護啓発事業

<公開>

県天然記念物 下萱津のフジ公開事業

- ・公開日 平成29年4月29日(土)、30日(日)
- ・協力 下萱津区、下萱津老人クラブ連合会、あまの神社仏閣へ行こう！プロジェクト(市民グループ)
- ・見学者 718名

<保護>

第64回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日時 平成30年1月26日(金) 午前10時～11時
- ・参加者 海部東部消防署20名、市消防団8名、甚目寺観音自衛団10名
甚目寺小学校4年生 約100名

<調査>

オコワ祭の民俗調査(市指定無形民俗文化財)

- ・調査団体 尾張西部のオコワ祭映像記録作製委員会
上記委員会を設立し、オコワ祭りの映像化のために必要な素材を撮影しました。

○刊行物

市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内 容	備 考
資料館だより ニュースレター008号	歴史民俗資料館事業報告、資料館ニュースなど	A4版、6頁 1,000部

※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、文化財防火デーにおける消防訓練の実施により、文化財保護意識の高揚の一助となりました。

- 幅広い世代に地域の歴史を伝え広められるよう平成30年度も継続して各種事業を実施します。

■社会教育施設整備事業

生涯学習活動の拠点となる公民館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○甚目寺公民館大ホール主幹調光盤更新工事

- ・事業内容 大ホールの舞台照明設備全ての電源を司る主幹調光盤及び舞台照明設備の更新工事を行いました。
- ・事業費 63,612,000円

※ この工事を実施したことにより、大ホールの舞台照明設備の安全性と利便性の向上を図ることができました。

- 利用者が安全かつ安心して利用できる施設環境を提供するため、今後も社会教育施設の整備に努めてまいります。

■美和文化会館事業

○文化教室

事業名	開催日	定員	受講者数	申込者数	会場
アロマヨガ（6回コース）	4月7日・21日、5月12日・26日、6月2日・16日（金）	25名	21名	21名	アートスペースM
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	4月12日・26日、5月10日・17日、6月7日・21日（金）	25名	32名	32名	アートスペースM
簡単おしゃれなラッピング	6月10日（土）	10名	3名	3名	アートスペースM
アロマヨガ（6回コース）	7月7日・21日、8月4日・25日、9月8日・22日（金）	25名	17名	17名	アートスペースM 他
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	7月12日・26日、8月9日・30日、9月13日・27日（水）	25名	26名	26名	アートスペースM 他
夏休み子ども絵画教室	7月28日（金）	40名	40名	40名	多目的ホール
夏休み子ども書道教室	8月5日（土）	20名	20名	20名	多目的ホール
アロマヨガ（6回コース）	10月6日・20日、11月10日・24日、12月1日・15日（金）	25名	17名	17名	アートスペースM 他
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	10月11日・25日、11月15日・29日、12月6日・20日（水）	25名	16名	16名	アートスペースM
デコパージュで飾りましょう	10月22日（日）	10名	8名	8名	多目的ホール
クリスマスに向けてのラッピング講座	11月26日（日）	10名	—	休講	
お正月飾りジュエリーデコ講座	12月16日（土）	10名	1名	1名	多目的ホール
アロマヨガ（6回コース）	1月12日・26日、2月9日・23日、3月9日・23日（金）	30名	19名	19名	アートスペースM 他
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	1月17日・31日、2月14日・28日、3月14日・28日（水）	30名	15名	15名	アートスペースM 他
ハーバリウム体験講座	2月24日（土）	30名	34名	34名	多目的ホール
簡単おしゃれなラッピング	3月24日（土）	20名	5名	5名	多目的ホール

○イベント事業

事業名	出演者（敬称略）	開催時期	参加者数	会場
海部交響楽団定期演奏会	指揮 照喜名一男 チェロ 深谷展晃	7月9日（日）	424名	大ホール
親子で楽しい人形劇	むすび座	8月26日（土）	113名	多目的ホール
クリスマスジャズコンサート	スイートキャッツ 加藤大智（サクソ） 他	12月3日（日）	575名	大ホール
あま市民絵画展	平松春夫	12月8日（金） ～17日（日）	45名	アートスペースM
文化の杜ミュージカルショー	高蔵高等学校・中学校演劇部	12月17日（日）	655名	大ホール
二日間だけの名画座	次郎物語・少年時代 他2本	2月3日・4日（土・日）	367名	大ホール
子ども狂言	佐藤友彦、鹿島俊裕	2月12日（月）	455名	大ホール
あま市名曲コンサート 共演者演奏クリニック	愛知室内オーケストラ 海部地区小中学校 吹奏楽部員	3月11日（日）	15名	大ホール
あま市名曲コンサート	指揮 新田ユリ 演奏 愛知室内オーケストラ	3月18日（日）	239名	大ホール

※ これらの講座・イベント等の開催により、文化・芸術に親しむ機会を提供しました。

● 平成29年度の実績を踏まえながら、平成30年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催していきます。

■美和図書館事業

企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

事業名	実施内容	期 間	会 場
特別展示	「瀬戸ノベルティー展」 明治時代から戦後にかけ、瀬戸で作られた海外輸出向けの貴重な陶器を利用者から借用し、展示した。	4月8日～ 6月25日	図書館内 展示ケース
	「コスプレ衣装で楽しもう！展」 手づくりの衣装を着て家族でテーマパークへ訪れた利用者から衣装を借用し、展示した。	7月1日～ 8月31日	
	「鉄道写真展」 トーマス列車やアンパンマン列車などの写真を利用者から借用し、展示した。	9月19日～ 10月29日	
	「永田萌展」 絵本作家の永田萌さんを紹介するため、イラストやグッズを展示した。	11月3日～ 12月24日	
	「郷土玩具・戌展」 美和図書館所蔵の大照コレクションより、今年の干支である犬の郷土玩具を展示した。	1月4日～ 1月25日	
	「日々編む楽しむニット展」 手編みを楽しむ利用者の方から作品を借用し、参考にされた資料とともに展示した。	1月27日～ 3月31日	

○講座・講演会・読み聞かせ

事業名	実施内容	回数	参加者	会場
春の図書館まつり	ブックリサイクル	1回	約300名	美和文化会館 1階ロビー
	グー・チョキ・パーのおはなし会&工作	1回	52名	美和文化会館 2階ロビー
	映画鑑賞会 「動物の赤ちゃん」 「わすれた森のヒナタ・おじゃる丸スペシャル」 「君に届け」	1回	101名	美和文化会館 多目的ホールABC
	鉄道模型展示走行会 鉄道模型をレールやミニチュアの景色の中で、走らせた。 (尾張鉄道倶楽部)	1回	110名	美和文化会館 アートスペースM
	みわおもちゃ病院 一般の方が持ってきたおもちゃの修理を「みわおもちゃ病院」の方々が行った。	1回	32名	美和文化会館 2階ロビー

読書手帳配布		30冊記入出来る読書手帳を配布し、全て記入出来たら希望者にスタンプを押した。	1回	約480名	美和図書館内	
七夕飾り		利用者に短冊に願い事を書いてもらい笹に飾った。	1回	約300名	美和図書館内 美和文化会館 1階ロビー	
読書ラリー		小学生から高校生までが対象。期間中に来館し、自分のカードで貸出をすると一日に1回スタンプを押印。5個と8個のスタンプでプレゼントを渡した。	1回	844名	美和図書館内	
講演会		演題：「新川開削230年 海東郡に新川ができるまで」 熱田図書館館長の安立満裕氏を講師に迎え、人工河川を作った理由や新川が出来る前の庄内川の川筋と完成後の川筋の違いを、古地図を参考にしながらお話しいただいた。	1回	70名	美和文化会館 多目的ホールABC	
ワークショップ		「親子工作会牛乳パックでつくる『ぞうくんのさんぽ』」 「一日図書館員」 「ペタペタおえかき うちわをつくろう！」 「ちくちく手づくりの会」 「はらぺこあおむしを作ろう！」 「牛乳パックでゆび編みしてみよう！」 絵本作家による読み聞かせとワークショップ「ぼくのわたしのどうぶつえんづくり」	8回	延145名	美和文化会館 会議室 多目的ホールABC 美和図書館内	
秋の図書館まつり	ブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった図書や図書館の除籍資料を持ち帰っていただいた。	1回	約300名	美和文化会館 1階ロビー	
	おはなし会リレー	もこもこのおはなし会	乳児・幼児向けおはなし会	1回	41名	美和文化会館 多目的ホールAB
		グー・チョキ・パーのおはなし会	幼児・児童向けおはなし会と工作	1回	27名	美和文化会館 多目的ホールAB
		語りの会ペロリのおはなし会	幼児・児童向けストーリーテリング	1回	26名	美和文化会館 多目的ホールAB
		にくじゃがの会	人形劇	1回	56名	美和文化会館 多目的ホールC
	本の福袋貸出	図書館員おすすめの図書3冊を書名がわからない状態で袋に入れ、袋ごと貸出を行った。	1回	36名	美和図書館内	

	バルーンアート	「あま市レクリエーション協会」の方にバルーンアートを見せていただき、出来たふうせんを子ども達に分け与えた。	1回	100名	美和文化会館 1階ロビー
	「和のしらべ」コンサート	お琴、笙、筑前琵琶の演奏と伊六万歳の実演を行った。美鶴会・真友会・林旭光氏・演劇集団くつわとその仲間たち	1回	83名	美和文化会館 多目的ホールABC
	私の一押し本	利用者がかいたおすすめ本の紹介文や読書画の展示を行った。	1回	71名	美和図書館内
	図書館ラリー	図書貸出、おはなし会リレー、輪投げ、的当てゲームを行なうと飴のつかみ取りが出来るラリーを行った。	1回	111名	美和図書館内 美和文化会館 1階ロビー 多目的ホールABC
	みわおもちゃ病院	一般の方が持ってきたおもちゃの修理を「みわおもちゃ病院」の方々が行った。	1回	36名	美和文化会館 2階ロビー
	鉄道模型展示走行会	鉄道模型をレールやミニチュアの景色の中で、走らせた。 (尾張鉄道倶楽部)	1回	135名	美和文化会館 アートスペースM
	音訳あまコーナー	音訳ボランティアの協力により、コーナー設置した。	1回	—	美和文化会館 1階ロビー
見学		正則小学校2年生見学 篠田保育園見学 七宝北部保育園見学 美和小学校2年生	4回	197名	美和図書館内
職場体験学習		七宝北中学校2年生 七宝中学校2年生 美和中学校2年生 甚目寺南中学校2年生 甚目寺中学校2年生	5回	20名	美和図書館内
10年研修		稲沢市立千代田中学校教員 弥富市立弥富北中学校教員	2回	2名	美和図書館内
学習室開設		夏休み期間中、学習室を開設した。	1回	延619名	美和文化会館 アートスペースM
読み聞かせボランティア講座		「子どもたちに絵本のたのしさを」	1回	17名	シルバーカレッジ 教室
シルバーカレッジ		あま市シルバーカレッジ生徒向け読書会。	1回	43名	美和文化会館 多目的ホールABC
研修会		教職員の海部地区東ブロック図書研修会にて「図書室の運営について」などを講義した。	1回	20名	美和文化会館 多目的ホールC

おはなしをきく会	ストーリーテリング・語りの会ペロリ	2回	延23名	美和図書館内 おはなしコーナー
グー・チョキ・パーのおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、工作等。	9回	延169名	美和図書館内 おはなしコーナー
グー・チョキ・パー夏のスペシャル	スライド上映・ブラックパネルシアター・工作など・グー・チョキ・パー	1回	80名	美和文化会館 多目的ホールABC
グー・チョキ・パーキッズのおはなし会	子どもによる子どものためのおはなし会。	2回	延79名	美和図書館内 おはなしコーナー
グー・チョキ・パーのお正月あそび	琴の演奏やけん玉や独楽などのお正月あそびや読み聞かせ・工作を行った。グー・チョキ・パー	1回	60名	美和文化会館 多目的ホールABC
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等。	45回	延1,227名	美和図書館内 おはなしコーナー
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等。	21回	延244名	美和図書館内 おはなしコーナー
出張読み聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等。	67回	延2,896名	・子育て支援センター (12回、延329名) ・つどいの広場 (12回、延192名) ・七宝北部保育園 (2回、延71名) ・正則保育園 (12回、延502名) ・篠田保育園 (12回、延547名) ・七宝子ども園 (5回、延208名) ・ひかりこどもえん (2回、延301名) ・美和保育園 (5回、延291名) ・青山幼稚園 (3回、延300名) ・中川幼稚園 (1回、113名) ・木田幼稚園 (1回、42名)
ブックスタート出張読み聞かせ	乳児健診の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌う。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行い、ブックスタートパックを手渡した。	12回	160名	美和保健センター

○読書ボランティア講座

事業名	事業内容	開催日	参加者	会場
読み聞かせボランティア講座	子どもたちに絵本の楽しさを	6月30日	17名	シルバーカレッジ教室
	紙芝居を読んでみよう ～紙芝居と絵本の違いは？～	10月6日	35名	シルバーカレッジ教室
	絵本を楽しむ ～わらべうた・てあそび～	10月13日	21名	シルバーカレッジ教室
	ワークショップ ～紙芝居とわらべうた～	10月20日	15名	シルバーカレッジ教室

○図書館利用者数・年間貸出冊数

図書館	利用者数	年間貸出冊数	蔵書冊数
美和図書館	60,190人	229,010冊	118,698冊

※ これらの事業、読み聞かせ等を通じて、本を読む楽しさを伝えることができました。

● 平成30年度も継続して講座を開催していきます。

■文化施設整備事業

文化振興の拠点となる文化会館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○美和文化会館冷温水発生機更新工事

・事業内容 美和文化会館の冷温水発生機は設置後20年以上が経過し、交換部品の製造が中止となっていることから故障時に迅速な対応ができず、利用者に迷惑をかけることが予想されたため、更新工事を実施しました。

・事業費 68,591,880円

○美和文化会館大ホール緞帳用滑車・ワイヤー更新工事

・事業内容 設置後20年以上が経過し、経年劣化や摩耗により小さくなっている緞帳用の滑車が割れたり、ワイヤーロープが切れたりすることにより、緞帳が落下する危険性が想定されるため、更新工事を実施しました。

・事業費 2,160,000円

※ この工事を実施したことにより、文化会館利用者に安全安心な施設環境を提供することができました。

● 利用者の安全安心な施設環境を提供するため、今後も施設の整備に努めていきます。

(3) スポーツ課

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

教室名	期間	実施場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室（前期）	5月16日～ 7月4日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	15組	親子と一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、運動の基本を習得することを目的として実施しました。
親子体操教室（後期）	10月10日～ 11月28日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	25組	
親子体操教室①	6月6日～ 2月27日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室②	6月13日～ 3月6日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室③	6月13日～ 3月6日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	24組	
ボクシングエクササイズ教室	5月23日～ 6月27日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	32名	ボクシングエクササイズを通して健康な生活を送ることを目的に実施しました。
肩こり・腰痛ケアストレッチ教室	10月24日～ 11月28日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	30名	各家庭でも行える肩こり・腰痛のケアストレッチを目的に実施しました。
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～①	10月5日～ 12月14日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	学童の成長や発達過程から「動作の習熟」を主眼に置き、楽しくからだを動かすことを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～②	10月5日～ 12月14日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	
はつらつ健康教室～シニア運動教室～	10月5日～ 12月14日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	60歳以上	10名	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施しました。
健康・体力づくり教室～総合体育館トレーニング室を利用しよう～	10月7日～ 11月25日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生以上	10名	トレーニング室を利用し、器具の正しい使い方、効果的なトレーニング方法の習得を目的として実施しました。
小学生夏休みスポーツ教室 （団体スポーツ教室）	7月28日～ 8月25日 毎週金曜日	美和公民館	5回	小学生	30名	小学生を対象にドッジボールを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。
小学生夏休みスポーツ教室 （団体スポーツ教室）	8月2日～ 8月30日 毎週水曜日	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	30名	

小学生夏休みスポーツ教室 (フットサル教室)	7月25日～ 8月29日 火曜日 (8月15日を除く)	七宝 総合体育館	5回	小学生	20名	小学生を対象にフットサルを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。
---------------------------	--------------------------------------	-------------	----	-----	-----	--

※ 各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

- 平成30年度より教室受講者にアンケートを取る事で、市民ニーズにあった教室を企画していきます。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

行事・大会名	期日	曜日	実施場所	参加者数	内容
市民ラジオ体操の集い	5月28日	日	美和中学校運動場	395名	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施しました。
	6月25日	日	甚目寺総合体育館 野外ステージ	223名	
	7月23日	日	七宝北中学校運動場	375名	
市民歩け歩け会	10月29日	日	静岡県浜松市	110名	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
背割堤ランニング大会	11月5日	日	木曽三川公園	中止	主催である国営木曽三川公園より中止の決定がありました。
市民走ろう・歩こう会	1月28日	日	木曽三川公園東海広場	450名	木曽三川公園にて走ったり歩いたりして、健康及び体力の保持・増進を目的に実施しました。

※ 市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

- 参加者からのアンケートを参考にスポーツ推進委員会で協議し、より多くの市民が参加したくなるような事業内容を設定していきます。

■その他スポーツ事業

○夏休み学校プール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	期 日	実施場所	参加者数	内 容
夏休み学校プール開放事業	8月6日～ 8月20日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	延 1,035 名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

● 平成30年度も児童生徒にプール遊泳の機会を提供し、体力向上と健康増進に寄与していきます。プール開放期間を夏休み初日から15日間に変更して実施する事で、利用者の増加を図ります。

○総合型地域スポーツクラブ（一般会員 239 名、応援会員 639 口、賛助会員 30 口） 《年間講座》

種目	時間帯等	場所	対象	参加者数
バランスボール	毎月第1・3火曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 会議室1・2	一般	11名
3B子ども体操	毎月第2・4水曜日 16時～17時	甚目寺総合体育館 柔道場	年長・小1	9名
ラージボール卓球A	毎月第1・3水曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	22名
ラージボール卓球B	毎月第2・4水曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	20名
脳も鍛える健康体操	毎月第2・4水曜日 13時30分～15時	上萱津コミュニティ防災 センター1階研修室	一般	16名
スポーツ吹き矢	毎月第2・4木曜日 13時30分～15時	上萱津コミュニティ防災 センター1階研修室	一般	15名
シルバーエクササイズ	毎月第1・3金曜日 10時～11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	60歳以上	37名
硬式卓球A	毎月第1・3金曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	28名
硬式卓球B	毎月第2・4金曜日 13時30分～15時	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	32名
ジュニアバレーボールA	毎月第1・3金曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館 他	中学生	41名
ジュニアバレーボールB	毎月第2・4金曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館 他	中学生	43名
ビューティーヨガ	毎月第1・3金曜日 19時～20時30分	七宝総合体育館 剣道場	一般	23名
ジュニア卓球A	毎月第1・3土曜日 19時～20時30分	七宝中学校体育館 他	中学生	20名

ジュニア卓球B	毎月第2・4土曜日 19時～20時30分	七宝中学校体育館 他	中学生	19名
バドミントン入門	毎月第1・3土曜日 19時～20時30分	七宝北中学校体育館 他	小学3年以上	35名

《特別講座》

種目	時間帯等	場所	対象	参加者数
アロマヨガ教室（前期）	5月26日～7月14日の全8回 9時30分～10時30分	七宝総合体育館 剣道場	一般女性	20名
アロマヨガ教室（後期）	10月6日～12月1日の全8回 9時30分～10時30分	七宝総合体育館 剣道場	一般女性	16名
走り方講座	6月24日、7月9日、7月15日の全3回 19時～20時	七宝北中学校運動場	小学生	35名
ノルディックウォーキング入門	10月～11月の全4回 9時～10時30分	七宝焼アートヴィレッジ ふれあい広場・交流ホール	一般	定員4割に 満たなかったため休講
やさしい護身術「合気道」	7月4日～8月29日の全8回 火曜日 18時30分～20時	七宝総合体育館 柔道場	一般	32名
生き生きはつらつ介護予防教室	毎月第1木曜日 13時30分～15時	美和情報ふれあいセンター学習室1・2【4月～7月】 甚目寺公民館教養室【8月～11月】 七宝総合体育館ミーティング室（大）【12月～3月】	60歳以上	11名
らくらくシニアヨガ	毎月第2木曜日 9時30分～10時30分	七宝総合体育館ミーティング室（大）	60歳以上	18名
わくわくりズム新体操	毎月第1土曜日 10時～11時	篠田防災コミュニティセンター第2会議室	心身の発達の遅れ又はそのおそれがある満3歳から小学校低学年までの児童とその保護者	12名
ニュースポーツ	毎月第2土曜日 13時30分～14時30分	美和小学校体育館 他	小学生以上	3名
わいわい！みんなでビーチボール	毎月第4土曜日 10時～11時30分	美和東小学校体育館 他	一般（小学生以上）	31名

《イベント事業》

種目	時間帯等	場所	対象	参加人数
第3回あまちゃんラージボール卓球大会	6月24日（土）	七宝総合体育館 アリーナ	一般	224名
ラダーゲッター大会	9月3日（日）	美和公民館講堂兼体育場	小学生以上	43名
第2回あまちゃんお楽しみ団体戦（卓球大会）	9月23日（土）	七宝総合体育館 アリーナ	一般	254名
4周年記念イベント	2月25日（日）	甚目寺総合体育館メイン アリーナ	小学生以上	174名

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○七宝総合体育館防犯カメラ設置工事

- ・事業内容 安全で快適に市民が利用できるよう七宝総合体育館に防犯カメラ5台を設置しました。
- ・事業費 1, 765, 800円

○甚目寺プール解体工事（設計委託のみ）

- ・事業内容 甚目寺プールを安全安心に解体できるよう設計を委託しました。
- ・事業費 3, 240, 000円

○七宝グラウンド防球ネット増設工事

- ・事業内容 七宝グラウンドの四方を囲むように防球ネットを増設しました。
- ・事業費 6, 436, 800円（設計管理委託料496, 800円含む）

○美和グラウンド防球ネット増設工事

- ・事業内容 美和グラウンド東面バックネット裏の防球ネットの増設を行いました。
- ・事業費 1, 296, 000円

○川部ゲートボール場トイレ改修工事

- ・事業内容 老朽化により水漏れが酷いため、環境改善を図るために洋式便器として改修しました。
- ・事業費 367, 200円

○グラウンド整備

- ・事業内容 グラウンドの凍結防止及び土の飛散防止を目的として塩化カルシウムの散布とグラウンドの不陸を修正する整備工事を実施しました。
- ・事業費 1, 228, 020円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○親子料理教室の開催

家庭での食に対する関心を高めるために、親子料理教室を開催しました。給食で人気の献立や、家庭で簡単に作ることのできる料理を題材とすることで、調理の楽しさを親子で体験してもらい、学校給食や食に対する理解、関心を深めることができました。

事業名	場 所	開催日	受講者数	申込者数
親子料理教室	美和公民館	8月22日(火) 8月23日(水)	24組 55名	97組

※ 七宝公民館が使用できなくなり、美和公民館で2日間開催しました。児童は、親子料理教室で調理をすることで、調理に対する自信を持つことができました。また、保護者や他の児童と一緒に作業することで調理の楽しさを知り、家庭での食に対する興味・関心を高めることができました。

● 平成30年度も引き続き、親子料理教室を開催し、児童生徒の食に対する理解、関心を高めていくことで、食育を推進していきます。

○学校での食に関する指導

児童生徒の食への興味・関心を高め、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が各学校にて、学級担任とTT授業を行うなど、給食時に給食を生きた教材として指導しました。また、毎月献立表や給食だより、盛り付け図などを配布することに加え、学期毎に保護者及び教職員を対象に食育だより・食育メッセージを発行し、給食を通して食への関心を高めました。

※ 学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭・学校栄養職員が直接指導することにより、児童生徒の食への興味・関心を高めることができ、各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり、話をしたりすることで現状が把握でき、献立に取り入れることができました。

● 栄養教諭・学校栄養職員が毎日学校に出向いて直接指導することが困難なため、平成29年度から3センター統一の給食放送原稿を作成しました。児童生徒に毎日の給食について、「献立説明」、「食材の豆知識」、「給食センターでの調理の様子」を伝え、給食や食物に対する興味・関心を高めることで、平成30年度も引き続き食育を推進していきます。

○学校での健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

《学校保健委員会》

学校名	参加日	学校名	参加日
伊福小学校	11月29日(水)	甚目寺小学校	7月12日(水)
美和小学校	7月6日(木)		

《給食試食会》

学校名	参加日	参加者数
七宝小学校	5月26日（金）	69名
宝小学校	5月17日（水）	29名
伊福小学校	6月26日（月）	65名
秋竹小学校	10月4日（水）	22名
美和小学校	5月16日（火）	71名
正則小学校	10月17日（火） 1月24日（水）	34名 6名
篠田小学校	5月17日（水）	42名
美和東小学校	5月23日（火）	57名
甚目寺小学校	5月25日（木）	59名
甚目寺南小学校	9月28日（木）	68名
甚目寺東小学校	9月27日（水）	45名
甚目寺西小学校	5月9日（火）	47名
美和中学校	11月9日（木）	24名
甚目寺中学校	10月10日（火）	23名
甚目寺南中学校	6月6日（火）	31名

※ 栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食を話題として取り上げる機会が増え、児童生徒・教職員が食への関心を持つことで、保護者の興味が高まり、家庭での食に対する関心を高めることができました。

● 平成30年度も引き続き、各学校の健康教育の取組に積極的に参加し、児童生徒・教職員に加え、保護者の食への興味・関心を高めることで、食育を推進していきます。

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
4月4日（火）	5月分献立検討会
4月14日（金）	5月分物資選定委員会
5月2日（火）	6月分献立検討会
5月16日（火）	6月分物資選定委員会
6月2日（金）	7月分献立検討会
6月14日（水）	7月分物資選定委員会
6月28日（水）	第1回学校給食センター運営委員会
7月4日（火）	9月分献立検討会
7月26日（水）	9月・2学期分物資選定委員会
9月5日（火）	10月分献立検討会
9月15日（金）	10月分物資選定委員会
10月3日（火）	11月分献立検討会
10月13日（金）	11月分物資選定委員会
11月1日（水）	12月分献立検討会
11月15日（水）	12月分物資選定委員会
12月1日（金）	1月分献立検討会
12月13日（水）	1月・3学期分物資選定委員会
12月20日（水）	2月分献立検討会
1月16日（水）	2月分物資選定委員会
2月2日（金）	3月分献立検討会
2月15日（木）	3月分物資選定委員会
2月21日（水）	第2回学校給食センター運営委員会
3月2日（金）	4月献立検討会
3月14日（水）	4月・1学期分物資選定委員会

■新学校給食センター整備事業

平成31年9月の供用開始に向け、新学校給食センター整備事業を次のとおり推進しました。

<整備事業概要>

- ・事業内容
 - ① 美和プール跡地への新学校給食センター新築工事
 - ② 上記工事に伴う事前調査
 - ③ 上記工事に伴う基本設計・実施設計
 - ④ 上記工事に伴う工事監理
 - ⑤ 調理設備調達・搬入設置
 - ⑥ 事務備品等調達・搬入設置
 - ⑦ 開業支援
- ・事業費 3,019,680,000円

○新学校給食センター整備事業プロポーザル審査委員会

平成28年度に引き続き、新学校給食センター整備事業プロポーザル審査委員会を開催し、プロポーザルにて受託候補者を選定し、9月議会において議会の議決を得て、事業者と契約しました。

・ 委員構成

- ①学識経験者
- ②学識経験者
- ③学識経験者
- ④あま市副市長
- ⑤あま市教育部長

・ 開催概要

- ① 7月6日 第4回審査委員会を開催
→事業者提案について意見交換しました。
- ② 7月14日 第5回審査委員会を開催
→事業者のプレゼン及びヒアリングを行い、受託候補者を選定しました。
- ③ 8月17日 第6回審査委員会を開催
→講評内容を審議しました。

○新学校給食センター設計検証委員会

新学校給食センター設計検証委員会を立ち上げ、設計内容の検証を行いました。

・ 委員構成

- ①学識経験者
- ②学識経験者
- ③愛知県津島保健所職員

・ 開催概要

- ① 10月10日 第1回検証委員会を開催
→基本設計図書の進捗状況確認及び内容検証を行いました。
- ② 11月2日 第2回検証委員会を開催
→基本設計図書の内容検証を行いました。

○新学校給食センター運営検討委員会

新学校給食センター運営検討委員会を立ち上げ、運営方式の検討を行いました。

・ 委員構成

- ①学識経験者
- ②学識経験者
- ③教育委員会委員代表
- ④小中学校PTA連絡協議会会長
- ⑤小中学校PTA保護者代表
- ⑥小中学校長会会長
- ⑦愛知県栄養教諭
- ⑧あま市副市長
- ⑨あま市教育長
- ⑩あま市保育士長

・ 開催概要

- ① 9月28日 第1回運営検討委員会を開催
→事業の概要説明及び各運営方式の概要を説明・確認しました。
- ② 12月15日 第2回運営検討委員会を開催
→各運営方式のメリット・デメリットについて意見をいただきました。
- ③ 1月9日 第3回運営検討委員会を開催
→運営するに当たっての重要項目を絞り、当該項目について、各運営方式を採用する場合の意見をいただきました。

○新学校給食センター整備事業発注者支援業務

新学校給食センターの平成31年度供用開始を目指すにあたって、より良いセンターとするため、専門的知識を活用しました。

- ・事業内容 整備事業者選定支援及び設計モニタリング支援業務
- ・事業費 27,132,840円

※ 新学校給食センター整備事業を円滑に推進することができ、施設面について、事業者と契約し、設計図書を作成することができました。また、運営面については、市の運営方式として調理・洗浄等業務を民間委託とすることが望ましい方式であるという意見をいただきました。

- 平成30年度からは、工事着手し、平成31年9月供用開始に向け、施設整備を進めていきます。また、栄養教諭・学校栄養職員との連携を図りながら、学校給食における食物アレルギー対応の基本方針を定める等、運営面についても推進していきます。

■学校給食センター施設整備事業

○新学校給食センター整備事業関連工事

整備事業の円滑な推進のため、敷地南側への乗り入れ設置工事及び水路の蓋かけ工事を行いました。

- ・事業内容 南側乗り入れ及び水路蓋かけ工事
- ・事業費 5,967,000円

※ この工事を実施したことにより、新学校給食センター整備事業を円滑に推進することができました。

- 平成31年9月供用開始に向け、施設整備を進めていきます。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	平野 隆雄（元弥富市立桜小学校長、あま市内在住）
--------	--------------------------

今日の変化の激しい社会にあって、教育は、社会の変化に無関心であってはならない。社会の変化を展望しつつ、教育のあり方を絶えず見直し、教育における「不易」と「流行」を十分に見極めつつ、時代の変化とともに変えていくべきものに柔軟に対応していく必要があると考える。

あま市では、このような時代の要請と「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に基づき、市長と教育委員会が教育課題を共有し、未来を見据えて時代の変化に対応する教育行政を積極的に展開している。

具体的な施策としては、平成28年3月18日に市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において、「あま市教育大綱」を策定するとともに、それを個別に具体化するあま市教育立市プランを教育委員会が定めている。

今後は、この「あま市教育大綱」に示された教育分野の6つの重点施策及びあま市教育立市プランの着実な具現化に向け、教育の担い手であるべき学校・家庭・地域の役割・立場を見直すとともに、三者の連携強化を促す教育行政の実現を期待して止まない。

○ 学校教育課について

1 スクールサポーター配置事業

児童生徒に確かな学力をつけることは、あま市教育大綱の重点政策の1つである。とりわけ、障がいのある児童など、特別な支援を必要とする児童生徒に対する個に応じたきめ細かい学習支援等の必要性は年々増加している。平成30年度は昨年度よりスクールサポーターの増員がなされているが、常に課題と成果を検証しつつ、一層の充実を望みたい。

2 二期制

平成19年度より単独で実施されていた七宝北中学校の二期制に加え、平成29年度から市内全中学校で実施され、さらに、平成30年度から市内全小学校でも実施されている。二期制の導入により成績処理や通知表作成の時間が、三学期制より確実に減り、教員の多忙化解消の一手段になっているというメリットはある。しかしながら、二期制への移行は全国的な広がりが見られず、三学期制に戻す学校さえある。愛知県内においても豊橋市は三学期制に戻している。こうした現状把握と原因分析を踏まえ、教育大綱に明示されたPDCAサイクルによる二期制導入の成果と課題、メリット・デメリットの正確な把握に努め、児童生徒のことを最優先に考えた検証と改善を図っていきたい。

3 英語教育の推進

平成32年度に英語が教科として本格的に小学校に導入される。あま市では小中学校の英語指導助手（ALT）と県費の専科教員（邦人）の配置がなされ、生きた英語が各教室で響いているが、実際の指導においては担任がALTや専科教員に依存してしまう傾向にある。今後、平成32年度を見据え、TT指導をする担任の指導力向上のための研修、担任とALT・専科教員との連携強化、さらには、基本的な指導計画・カリキュ

ラムの作成と指導体制づくりを着実に進めていかなければならない。

4 教育相談センター事業

「学校教育支援」「教育相談活動」「不登校などの指導及び支援」を3つの柱として事業を行っている。

いじめ・不登校問題等の教育相談や適応指導教室の必要性・重要性が高まる近年、教育相談センター職員は、着実に成果を上げている。特に、学校不適応等生徒への支援は、専門員による児童生徒や保護者に対する適正な助言と指導、心理支援相談、面接相談と職員の熱意ある対応が成果を上げ、多くの児童生徒の自立及び学校生活への自発的復帰、そして、卒業後の社会復帰・就労を実現している。

平成30年度は、教育相談センターに新たに、派遣指導員2名・教育相談員1名を配置し、いじめ不登校問題や学級経営上の悩みの解決、解消に向けて担当学校を積極的に巡回訪問して相談に応じている。今後もあま市適応指導教室事業のさらなる充実を期待する。

5 小中学校適正規模見直し検討事業

該当地区の地域住民や保護者等に児童生徒数の推移や適正規模見直しのメリット等のデータを示しながら説明しても、容易にコンセンサスを得られないのが現状である。やはり、「おらが学校」という意識が根強く、旧来の学区の変更を受け入れることに抵抗を示すことは、あま市以外のケースを見ても珍しくない。地域の伝統的なお祭りや子ども会行事などの存続・改廃も含めて、様々な視点から考え抜いた具体案を提示しなければならない。したがって、この検討事業では、結論を急がず、検討委員会で時間をかけて十分な審議を行うことが肝要である。そのためには、地域の関係者や各界の識者等の検討委員会へのアドバイザー参加やオブザーバー参加を認めるなどの弾力的な方策もとっていききたい。

七宝北中学校区の学校選択制の導入については、特定地域選択性を導入する方向性が示されているが、選択性実施に伴うデメリット（学校間格差等）が生じないように留意しなければならない。広くあま市全体の保護者や地域住民の説明会へのオープン参加の機会を保障し、幅広い視野からの多様な意見を受け入れながら、コンセンサスを得られるように努力すべきである。

6 学校支援会議

家庭や地域の教育力の低下、学校におけるいじめ・不登校の問題、児童生徒の学ぶ意欲や学力・体力の低下、規範意識や道徳性の低下、そして、問題行動など、様々な教育課題が指摘されて久しい。

これらの教育課題を学校だけで解決するのは容易ではない。教育の担い手は、学校・家庭・地域であることを今一度肝に銘じ、地域ぐるみの教育を推進しなければならない。

平成24年度に設置されたあま市の「学校支援会議」は、このような認識に立った専門機関による迅速で力強い学校へのサポートが可能な画期的な体制として評価できる。今後、この会議が有名無実化することのないように、必要性を感じた学校が躊躇することなく学校支援会議開催の依頼と相談ができるような工夫と配慮を期待したい。

7 弁当の日

児童生徒が自らの手で弁当を準備する活動を通して、食への関心を高めることや食事を準備することを通して家族への感謝の気持ちや自立心を育むことをねらいとしているが、デメリットも少なくない。水筒のお茶さえ準備できないような厳しい家庭環境におかれている児童生徒にとっては、弁当を準備することは容易なことではない。

したがって、弁当の日のねらいについては異議はないものの、実施については賛同できない保護者もいる。職員・児童生徒・保護者から弁当の日実施に関するアンケートをとり、メリット・デメリットの正確な把握に努め、柔軟な見直し・改善を図ることを期待したい。

○ 生涯学習課について

あま市民の自発的な学習意欲、様々な学習ニーズに応えられるような事業・講座を設定している。

公民館事業では、どの公民館も市民の興味・関心を引く、充実した内容の講座を数多く企画運営している。これらの活動を通して、市民が知識や趣味を広げることはもちろん、相互の交流を深める地域コミュニティ形成に寄与している。

シルバーカレッジ事業は、60歳以上のあま市在住・在勤の方々を対象とし、歴史・健康・運動・ICT関係・防災等に関する各種の講座があり、受講生の学習・健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献している。受講を契機に交友が始まり、その後、数年経っても交流を続け、親睦を深めている方もみえるほどである。今後、この事業のさらなる拡大・充実を図り、シニア層の生活の活性化を促し、生きがいを実感しながら活躍できる新たな地域社会の形成へと発展していくことを願いたい。

あま市の家庭教育推進事業は、とても充実している。子育てに関する知識を広げたり、親同士のつながりを深めたりできるように、様々な幼児期家庭教育講座を開設している。この事業は、育児不安やストレスに悩む母親の支援として意義あるものである。

各校で開催している家庭教育学級の内容は、どちらかと言えば、健康や趣味に関する実技講座が多かったが、昨年度は、スマホ依存性や個人情報流出など、スマホやネット普及に潜む問題点・危険性を扱った講座が設けられるようになったのは評価できる。

○ スポーツ課について

平成27年度に新設されたスポーツ課は、幅広い年齢層を対象とした様々なスポーツ教室、スポーツ行事・大会を実施している。本年度より受講者にアンケートを取って市民のニーズに応じていこうとする改善を計画していることを評価したい。

今後は、より多くの市民の健康増進・体力向上の機会の提供だけでなく、スポーツを楽しむながらコミュニケーションや親睦を深めることができるようなスポーツ教室・講座事業の新設ならびにスポーツ施設・設備等のハード面での整備・充実を願う。

○ 学校給食センター課について

「親子料理教室」「学校における食に関する指導の実施」「学校における健康教育の参加」など、各校や関係機関との連携を図りながらの、食育の推進への積極的な取り組みを進めていることは評価できる。

給食は、安全性を最優先する考え方のもとに提供されなければならないことは言うま

でもない。したがって、栄養教諭・栄養職員・調理員との連携を強化しながら、献立作成から配膳までの各段階において、今まで以上の複数の目によるチェック機能の強化と緊急時の危機管理マニュアル等の見直し、改善を望みたい。

とりわけ、近年は食物アレルギーによるアナフィラキシーショックなど、生命に関わる問題発生危険性がどの学校にも潜んでいる。当該児童の保護者からの十分な情報提供の下、医療機関・消防署とも連携しながら食物アレルギー対応を踏まえた献立内容の工夫と緊急時の対応に関する連携を強化したい。さらに、食材の選定に当たっては、地産地消を一層推進し、食材の価格だけを優先しない安全で安心な食材選定ができるような改善を望みたい。

学識経験者名	大西 純滋（秋竹小学校学校運営協議会委員）
--------	-----------------------

近年、子どもたちを取り巻く社会情勢はかつてないほどのスピードで変化し、それに伴う教育の課題は複雑化し、学校のみでは教育を推進したり、課題を解決したりすることは不可能と考える。今年もあま市での新1年生は小学校約750名、中学校約790名と聞いている。昨年より小学校、中学校合わせ180名も少なく、この子ども達は、あま市の未来を築く子どもであり、その健全な育成こそが教育の目標でもある。私たちは、教育に関する色々な問題を一度真剣に考える時期に来ているのではないか。一つは家庭教育、二つ目は地域での教育、三つ目は学校での指導など三者が一体になり育成すべき問題だと思う。その中であま市は中学校を二期制に移行し、さらに小学校でも二期制を取り入れ教育環境を充実させている。市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において「あま市教育大綱」が策定され、行政と教育委員会が多くの教育課題に対して認識を共有して、相互連携をし信頼を深め、教育に対して充実した取り組みを期待したい。

○学校教育課について

●スクールサポーター配置事業について

子ども達の学習支援や特別な支援を要する子どもに対して、少人数指導は必要不可欠ものであると考える。これまで以上の事業の成果を期待し更なる充実を期待する。

●二期制について

今回、あま市内中学校において二期制を導入し、学校生活、学習などにゆとりをもって活動でき、また授業時間数が増えたという評価がされている。しかし、保護者からのアンケート調査では、その理解はまだ十分ではないと思う。理解を得る為には、学校での成果をもっと周知する必要があると感じる。また、小学校も二期制の実施に移行するが、保護者、に分かりやすい説明をし、理解を得られる事を願うばかりである。

●英語教育の推進について

小学校から英語が教科として導入された。あま市ではALTが配属され、子ども達の外国語によるコミュニケーション力の向上や外国語に親しむよう活用されている。各学校に於いて運用面など任されているが、問題はないかどうか子ども達の実態を把握し、英語力の向上のために一層の充実を望む。

●教育相談センター事業について

「学校教育支援」「教育相談事業」「適応指導教室」と重要な課題を目標に上げての活動は称賛されるものである。

教育に関しては児童を取り巻く様々な問題があると思うが、学校教育における教員の指導力向上に対する支援や毎日直面する問題を解決する後方支援など、力強い事業で更なる充実を期待したい。

●小中学校適正規模見直し検討委員会

北中検討委員会も、長い期間と多くの議論を得て学校選択制への議論に達した。この選択制についても子ども達の為に有意義な検討会でなくてはならない。あま市の未来を築く子ども達の教育、学校運用面に適正な学習環境を作る為の検討会でもある。選択制

を平成32年度をめどに目標を立てているが、関係者への啓発、PRなど十分に検討し保護者への理解を得て頂きたい。

●特色ある学校づくり推進事業について

この事業は、早や6年目を迎えたあま市独自の事業であり、「特色ある学校づくり」を目指して行くもので、各学校がそれぞれの特徴を生かして独自に考えて推進するものである。単に新しい物事を展開するだけのものではなく、従来の教育に付加した取り組みにも新鮮な価値があると思うのでしばらく注目したい。

●弁当の日について

各小中学校で弁当の日を設けた。食は我々人間にとっては一番大切なものであり、子ども達に「親のありがたみ」「自立心」を芽生えさせ、食への感謝を考えさせる大変良い企画であると思う。子ども達がどの様に感じているかを調査し継続を願いたい。

○生涯学習課について

あま市では毎年多くの事業を展開し社会教育事業を充実させている。公民館事業では、多くの講座を企画運営し、市民の生涯学習の面だけでなく交流の面でも有効な場となっており、地域に根付いた活動、ひいては市の活性化を促す活動となることを願いたい。また、地域社会の形成と市発展のためにも新たな企画を取り入れ、市民にとってさらに有益な事業になることを期待したい。

○スポーツ課について

スポーツは、体力向上、健康増進のみならず、それを楽しみながら親睦を深め、地域のつながりを持ち、街の活性化を作り出している場でもある。

あま市は、健やかな「勇健都市あま」を目指している。継続的で誰でも参加出来る運動事業を考え、貢献できることに期待したい。

○学校給食センター課について

児童、保護者への「食」の関心は高く、学校給食に対する関心度は一番高いものと考えている。

給食においては、栄養指導を含め更なるきめ細やかな活動が求められている。現在学校栄養職員、栄養教諭が各学校に出向き、食育として学校担任と授業を行うなどを行っているが、このように食への関心度を高めていることを継続して欲しい。

給食センターが平成31年の9月の開始を目指し新給食センターの建設を行っている。近代設備を取り入れ、センター稼働すると聞く。センターに従事する人達の専門知識が必要になると考えられるが、十分な知識を身に付ける様研修を進め、また、安全対策を十分に行うよう願う。